

令和5年度第1回 頓原デイサービスセンター運営推進会議

日時 令和5年12月19日(火)午後2時～
場所 愛寿園会議室

出席者:

1、あいさつ

2、デイサービスセンター活動報告

3、意見交換

次回開催予定 3月

令和5年度第1回

運営推進会議資料

頓原デイサービスセンター

利用料金

通所型サービス

(要支援1 月4回 要支援2 月8回の利用の場合)

(1ヶ月あたり)

	負担金	食事代	おやつ代	合計
要支援1	2,053円	2,320円	200円	4,573円
要支援2	3,960円	4,640円	400円	8,996円

※上記金額は1割負担対象の方です。

※食事1食580円、おやつ代1日50円、時間延長なし。

地域密着型通所介護

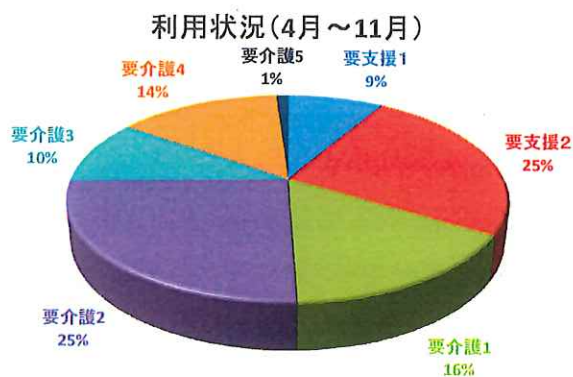
(1日あたり)

	負担金	食事代	おやつ代	合計
要介護1	927円	580円	50円	1,557円
要介護2	1,073円	580円	50円	1,703円
要介護3	1,224円	580円	50円	1,854円
要介護4	1,374円	580円	50円	2,004円
要介護5	1,523円	580円	50円	2,153円

サービス提供体制加算 6単位 入浴介助加算 55単位 個別機能訓練加算 56単位 介護職員処遇改善加算Ⅰ(加算率5.9%) 介護職員特定処遇改善加算Ⅱ(加算率1.0%)を含む。

※上記金額は1割負担対象の方です。

利用状況 (4月～11月) 契約者数 53名 男20名 女33名 平均介護度 1.72 平均年齢 86.4歳



	利用延べ人数	営業日数	1日の利用人数	利用率
4月	325	26	12.50	69%
5月	363	26	13.96	78%
6月	354	26	13.62	76%
7月	366	26	14.08	78%
8月	383	27	14.19	79%
9月	369	26	14.19	79%
10月	340	26	13.08	73%
11月	334	26	12.85	71%
		平均人数	13.56	

職員体制

管理者1名(生活相談員兼務)

生活相談員2名(うち1名兼務職員)

介護職員5名(うち1名兼務職員) (うち介護福祉士資格者1名)

看護職員1名

機能訓練指導員(理学療法士)1名

その他の職員

主な活動実施状況

月	行事名	職員研修
4月	ドライブ(大和・志津見)	
5月	ドライブ(三瓶)	
6月		
7月		口腔衛生研修
8月		認知症研修・身体拘束研修・緊急時対応研修
9月		事故防止研修
10月		ハラスメント研修・褥瘡予防研修

※定期行事として作品作り、カレンダー作りを実施

(花見会行事食)



(口腔ケア研修)



介護保険外サービス状況

・おむつの販売

8名利用 49個(9月末)

リスクマネジメント状況

事故報告①

発見・発生場所	ホール
発見・発生時の状況	職員を呼び飲み物が苦いと訴えがある。 テーブル上にある消毒液(スプレータイプ)コップに出して飲まれる。 隣の利用者さんにも入れたと話される。プッシュして入れたと思われるので 少量と推測する。
処理・処置	水分をいつもより多く飲んでもらう。 経過観察し様子を見る。特にはいつもと変わりなし。
要因分析	認知症の進行にて理解力が乏しくなっている。 テーブル上にある消毒液は飲んで良いものと勘違いされた。
今後の対応	テーブルには消毒液を置かないようにする。 希望時、必要時にはその都度職員が渡すようにする。

事故報告②

発見・発生場所	ホール
発見・発生時の状況	午睡から起きてホールにある椅子に座ろうとされる際に左手が ひじ掛けに届かないうちに座ろうとされる。 付き添い職員が身体支え字が間に合わず床にゆっくり座られる。
要因分析	日により足の動きが悪く歩行が悪い時がある。 早く物につかまろうとされるためバランスが崩れることがある。
今後の対応	しっかり声掛けを行い誘導する。 姿勢が崩れた際には一度姿勢を整えてもらう。 体調や動きにより一時的に車椅子を使用する。

介護予防事業所 にじいろ

サービス内容

・介護予防事業所にじいろは、体操と予防活動(買い物等)を組み合わせた事業です。
(体操) (買い物)



利用回数、利用料金

- ①月4回利用 (火曜日、木曜日)
 - ②料金 1割負担 月1,388円
おやつ代 1日30円
- 栄養指導

赤名ボタン園



マジックショー

玉入れ



うぐいす茶屋食事会

防犯研修



11月末現在 14名利用(女性)
要支援1 2名 要支援2 1名

事業対象者 11名

デイサービス事業についての職員評価

活動の効果

・皆さんデイサービスに来られることを楽しみにしておられるご様子です。職員やご利用者様同士でのお話、レクリエーション、リハビリ体操などご家庭ではなかなかできない活動を喜ばれています。何よりも、皆さんでワイワイ賑やかに過ごして頂いていることがとても良いようです。

課題

・一人一人ADLや認知機能に差がありできる活動を考えながら行っているが限られている。
目の悪い方もおられ、その他の五感に訴える物を行っている。
職員はその日、その日で楽しんでもらえるゲームを考えるのでスキルアップにつながっている。

第1回頓原デイサービスセンター運営推進会議会議録

開催日	令和5年12月19日(火)	開催時間	14:00~15:00	記録	倉橋直之
参加者	K様(地域包括支援センター)、I様(公民館職員)、O様(家族代表) I様(地域住民代表) 田中(園長)、光田(事務長)、倉橋(生活相談員)				
議題	1、頓原デイサービスセンター活動報告 2、デイサービスセンター事業計画 3、意見交換				
会議内容	デイサービスでの活動見学を行う 1、頓原デイサービスセンター活動報告 別紙 運営推進会議資料にて報告 2、頓原デイサービスセンター事業計画報告 別紙 運営推進会議資料にて報告 質問等 Q、にじいろの活動の中で地域の子供が写真に写っていたがいつ行ったのか。 A、夏休みに子供が公民館に集まるので計画し行った。 Q、感染症が流行しているが職場体験の受け入れはできるか。 A、出来るだけ受け入れはしていく予定。子供と高齢者の交流はどちらにとっても喜ばしい。 秋祭りや地域との交流も行っている。 Q、普段は家だけで過ごしている利用者がデイサービスに行くのとどのように過ごしているのか。 A、それぞれの利用者は目的は違って利用されているが家族以外の他者とのかわりがあり良い刺激になっている。				
次回開催予定	令和6年3月				